

川口起美雄

2025.11.1 sat - 2026.2.1 sun

開館時間 = 9:30 - 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 = 月曜日(11月3日、24日、1月12日を除く)、12月29日 - 1月3日

主催 = 神奈川県立近代美術館

協力 = 株式会社DNPコミュニケーションデザイン 匠デザイン室、株式会社 竹尾

[Hours] 9:30 - 17:00 (last admission at 16:30)

[Closed] Mondays (except November 3, 24 and January 12), December 29 - January 3

Organized by The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama

Cooperation: DNP Communication Design Co., Ltd. Takumi Design Laboratory / TAKEO Co., Ltd.

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

The Museum of Modern Art, Kamakura Annex

THOUSANDS ARE SAILING KAWAGUCHI KIMIO

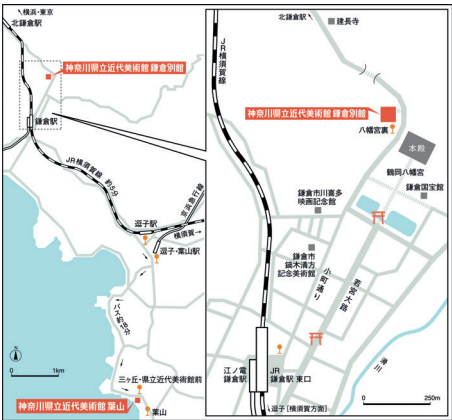
《机の上の旅》(部分) 2025年 テンペラ、油彩、板 個人蔵



A	B	C
D	E	F

- A. 《夜の肖像》2005年 | テンペラ、油彩、板 B. 《背中》1983年 | テンペラ、油彩、パーティクルボード | 個人蔵
C. 《故郷を喪失したものとたち》1982年 | テンペラ、油彩、板 | 東京オペラシティアートギャラリー D. 《柘榴(グラナダ・アプフェル)》1977年 | テンペラ、油彩、カンヴァス | 個人蔵
E. 《フランチ・Kの街》2011年 | テンペラ、油彩、板 | 個人蔵 F. 《時の祭壇》2003年 | テンペラ、油彩、板 | 個人蔵

【関連イベント】アーティストによるギャラリートーク 11月23日(日・祝)、12月14日(日) 各回14時－15時 ●申込不要、無料(当日の観覧券が必要です。) 詳細は美術館ウェブサイトでご確認ください。



【観覧料】一般 700(600)円 | 20歳未満・学生 550(450)円 | 65歳以上 350円 | 高校生 100円 無料開館日:11月3日(月・文化の日)

- ()内は20名以上の団体料金です。●中学生以下の方と障害者手帳等、ミライロIDをご提示の方(および介助者原則1名)は無料です。ミライロIDについて、通信環境等の影響によりタブレット等の端末画面で必要な情報が確認できない場合は、原本のご提示をお願いすることがあります。●ファミリー・コミュニケーションの日(毎月第1日曜日:11月2日、12月7日、1月4日、2月1日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、割引料金(65歳以上の方を除く)で観覧いただけます。
- その他の割引につきましてはお問い合わせください。●最新情報は美術館ウェブサイトか電話でご確認ください。

[Admission] Adults: 700 yen; Under 20 and Students: 550 yen; 65 and over: 350 yen; High school students: 100 yen; Junior High School and under 16: Free Admission is free on November 3, Culture Day. Please check our website for the latest information.

【同時開催】神奈川県立近代美術館 葉山 Tel. 046-875-2800

7月19日(土)－11月3日(月・祝) 企画展「上田義彦 いつも世界は遠く、」

11月15日(土)－2月23日(月・祝) 企画展「若江漢字とヨーゼフ・ボイス 撮影されたボイスの記録、そして共振」／コレクション展「没後10年 江見絹子 —1962年のヴェネチア・ビエンナーレ出品作品を中心に—」

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

The Museum of Modern Art, Kamakura Annex

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1 2-8-1 Yukinoshita, Kamakura, Kanagawa 248-0005

Tel. 0467-22-5000 <https://www.moma.pref.kanagawa.jp>

【交通案内】【公共交通】JR横須賀線・江ノ島電鉄「鎌倉」駅下車徒歩約15分、または東口2番のりばから江ノ電バス(大船駅・上大岡駅・本郷台駅行、約5分)で「八幡宮裏」下車徒歩2分／JR「北鎌倉」駅より徒歩約20分、または江ノ電バス(鎌倉駅東口行、約5分)で「八幡宮裏」下車。【車】横浜横須賀道路、朝比奈インターチェンジから鎌倉霊園を経由して鶴岡八幡宮前へ約5km。※駐車場はございません(障がい者用を除く)。障がい者用駐車スペースをご利用の方は、事前にご連絡ください。

川口起美雄は、目に見えないものは描かず、見えるものを描いて誰も見たことがない風景を現出させる作家です。1970年代以降「故郷を喪失したものとたち」をテーマに、あるべき場所を求めてさまよう人々の旅の記録者として絵画を描いてきました。テンペラ絵具と油絵具の混合技法による「ユアンスに富んだ質感」を持ち、物語を想起させる作風は、しばしば詩に喩えられ「読まれる絵画」とも称されます。本展では1970年代の初期作品から初公開となる新作までを展示し、半世紀に及ぶ創作の軌跡をたどります。

【川口起美雄 かわぐちきみお 略歴】 1951年、長崎県生まれ。1974年に渡米。オーストラリア国立ウイーン応用美術大学にてヴォルフガング・フッターに師事し、北方ルネサンスの古典技法を研究。テンペラ絵具と油絵具の混合技法を習得する。1977年に帰国し、翌年、青木画廊で初の個展を開催。1985年から翌年にかけて、文化庁在外研修員としてウィットワイ美術館修復室でイタリア・ルネサンスの技法を学ぶ。1987年、第30回安井賞展で佳作賞を受賞。2002年に池田20世紀美術館、2015年に平塚市美術館、2021年に武蔵野美術大学美術館・図書館で個展を開催。2013年から2022年まで武蔵野美術大学造形学部油絵学科の教授を務めた。